

Title	平成十年度 三田史学会大会
Sub Title	
Author	
Publisher	三田史学会
Publication year	1999
Jtitle	史学 (The historical science). Vol.68, No.1/2 (1999. 1) ,p.221- 224
JaLC DOI	
Abstract	
Notes	彙報
Genre	
URL	https://koara.lib.keio.ac.jp/xoonips/modules/xoonips/detail.php?koara_id=AN00100104-19990100-0221

慶應義塾大学学術情報リポジトリ(KOARA)に掲載されているコンテンツの著作権は、それぞれの著作者、学会または出版社/発行者に帰属し、その権利は著作権法によって保護されています。引用にあたっては、著作権法を遵守してご利用ください。

The copyrights of content available on the KeiO Associated Repository of Academic resources (KOARA) belong to the respective authors, academic societies, or publishers/issuers, and these rights are protected by the Japanese Copyright Act. When quoting the content, please follow the Japanese copyright act.

平成十年度 三田史学会大会

——平成十年六月二十七日(土)——

研究発表

日本史部会

- 1 鳥羽院政期の村上源氏について——美福門院藤原得子との関係——
慶應義塾大学(大学院修士課程) 山田 彩起子
- 2 中世成立期における荘官の社会的機能の変遷について——寺領荘園を中心として——
慶應義塾大学(大学院修士課程) 守田 逸人
- 3 室町幕府内談衆大館氏の家領について
慶應義塾大学(大学院修士課程) 羽田 聡
- 4 近世後期伊達家の家格問題
慶應義塾大学(大学院修士課程) 倉持 隆
- 5 竹越三叉と師福沢諭吉——憧憬・反発・尊敬——
慶應義塾大学(大学院修士課程) 堀 和孝
- 6 九世紀における日本律令国家の対外意識——新羅観の変容を中心として——
慶應義塾大学(大学院修士課程修了) 村上 史郎
- 7 南北朝期上杉氏の上野国支配の特質
国学院大学栃木短期大学 松本 一夫

東洋史部会

- 1 モサツデク政権期におけるテヘランのバーザール勢力の役割——ディール月30日事件を中心として——
慶應義塾大学 (大学院博士課程) 貫井万里
- 2 ザンギー朝下アレppoにおけるマドラサ建設の動向
慶應義塾大学 (大学院博士課程) 阿久津正幸
- 3 民国期上海紳商による誘拐防止事業——中国救済婦孺会資料を通して——
東京大学 (大学院修士課程) 岩間一弘
東海大学 斎藤道子
- 4 春秋時代の社会的紐帯について

西洋史部会

- 1 十六世紀後半の説教本にみる貧民救済の概念
慶應義塾大学 (大学院博士課程) 影山明日香
- 2 C・B・マクファースンのエドマンド・バーク解釈について
慶應義塾大学 (大学院修士課程終了) 遠藤吉宗
安田女子大学 宮城徹
- 3 「ノルマン征服」と十一世紀イングランド農村世界
同志社大学 山田史郎
- 4 労働者階級と新聞——十九世紀前半アメリカ合衆国におけるペニー・プレスの興隆——

民族学・考古学部会

- 1 近世庚申塔の基礎的研究——東京都内の旧街道筋を中心として——
慶應義塾大学 (大学院修士課程) 石神裕之
- 2 南アラビアのステラをめぐる信仰形態——碑文にみられる hats の解釈を中心に——
慶應義塾大学 (大学院修士課程) 徳永里砂

3 日系移民の物質文化にみられる変化——ニューカレドニアの墓標調査から——

慶應義塾大学（大学院博士課程） 朽木 量

4 出土点数にみる土偶祭祀

慶應義塾女子高等学校 藤村東男

5 環東地中海世界の扁壺——スカレス遺跡における受容と変容——

慶應義塾大学（大学院博士課程） 永井正勝

6 遺跡調査報告書の評価と発掘調査の現状

慶應義塾大学（大学院修士課程） 福田玲介

7 石器接合資料の空間的分布について

慶應義塾大学（大学院修士課程） 片岡泰樹

8 縄文・弥生時代イノシシ類の形質差とその背景

慶應義塾大学（大学院博士課程） 姉崎智子

シンポジウム

テーマ 歴史としての人類進化

話題提供

人類進化に関する思想的背景と現代の論点

高山 博氏（慶應義塾大学文学部・司会）

ダーウイニズム以前の自然観とその後背

西村 顕治氏（慶應義塾大学医学部）

遺伝進化学から見た人類の進化

斎藤 成也氏（国立遺伝学研究所）

福澤諭吉とエドワード・モース

坂井 達朗氏（慶應義塾大学文学部）

三田史学会常任委員・委員（平成10年7月～平成11年6月）

常任委員

会長 東畑隆介

庶務 長谷山彰（大会庶務 1年）、吉原和男（会計兼務 2年）、吉武憲司（1年）、棚橋 訓（日常庶務 1年）

編集 三宅和朗(1年)、桐本東太(2年)、神崎忠昭(1年)、阿部祥人(2年)

会計 吉原和男(2年)

会計監査 犬塚富士夫、宮崎 洋 ()内は分担および任期年数

委員

日本史 峰岸純夫、鈴江英一、戸沢行夫、西岡芳文、糸賀茂夫

東洋史 尾崎 康、山城喜憲、森 雅子、三沢伸生、野元 晋

西洋史 田辺三千廣、宮前安子、米田 治、坂口昂吉

民族学考古学 小川英雄、近森 正、鈴木公雄、藤村東男